

平成 29 年度

公益社団法人 地盤工学会
第 4 回 会員・支部部会
議 事 録

(12/8 版)

日 時：平成 29 年 12 月 6 日 (水) 15:00~18:00		会場：地盤工学会 地階会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 廣 岡 明 彦 ○			
理 事 金 子 敏 哉 (会 員・支 部 担 当)	○	理 事 北 田 奈 緒 子 (男 女 共 同 参 画・ダ イ バ ー シ テ ィ 担 当)	○
部 員 石 井 裕 泰	○	部 員 石 川 敬 祐 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	○
部 員 田 中 真 弓	○	部 員 原 田 克 之	○
部 員 渡 邊 康 司	×	理 事・副 会 長 田 中 耕 一	×
事 務 局：長 尾 ○ 伊 佐 治 ○			

○：出席 ×：欠席 △：未定

◎本日の議事録作成担当者（石川 部員）

議 題：

1. 前回議事録の確認（2017 年 10 月 6 日開催）

資料－1 pp.1～2

- ＞須賀部員は、前年度で退任していることが本人の申出でわかったため、本年度の名簿や部会資料から須賀部員の名称を削除することとする。
- ＞須賀部員の退任に伴い 1 名の欠員となる。各 WG で人員が必要となる場合は、部員 1 名を追加することとする。この際に、追加部員が会員の場合は理事会報告とし、非会員の場合には理事会審議となる。
- ＞会員・支部部から 70 周年記念事業委員会への委員参加は、田中真弓委員で理事会承認された。会員・支部部の委員は続投していただくこととした。

2. 理事会報告（2017 年 10 月、11 月開催）

資料－2 pp.3～16

- ＞内閣府立入調査における指摘事項の概要が説明され、支部管理の流動資産額の管理運営方法の改善が必要となることが報告された。不明な点については、本部に問合せを確認する。

3. 電子化 WG 報告

- ＞特になし

4. 平成 30 年度予算案（第 2 次案）の検討

1) 事業方針・計画案

資料－3 p.17

2) 予算案

資料－4 pp.18～34

- ＞前文の一部修正；「男女共同参画・ダイバーシティ委員会」・・・女性会員や外国人、若手会員、シニア会員 と外国人を追記することとした。
- ＞会員・支部部会費については、旅費の一部を見直すこととした。会員増加活動費の内訳として、名刺の作成、支部への旅費（委員選出のない北海道支部、東北支部の 2 地域を候補地）を記載する。
- ＞技術普及委員会費、PR 費については、一次案の通りとする。但し、3 次案提出が求められた場合には「Web 配信実施費用」を見直すこととした。
- ＞継続教育システム委員会費については、一次案の通りとする。
- ＞男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会費については、若手座談会の費用を平成 29 年度実績なみに縮減する。
- ＞各予算を修正した二次案は、後日メール審議とすることとした。

5. 理事会からの検討依頼

- ＞特になし

6. WG 活動

1) 特別会員強化 WG

資料－5 pp.35～36

> 会員登録情報の整理の状況報告が行なわれた。今後は、現時点情報を元に会員増加策、会員登録状況の分析を行い、会員としての付加価値などを探っていくことが報告された。

2) 会員 DB 活用 WG

資料－6 pp.37～40

> 会員 DB システムの経緯の振り返りと現状の会員 DB 情報の入力項目およびその状況が報告された。

> 会員 DB の更新依頼は、会費請求時に書類を同封して送っている。今後は、これに加えてメール配信も行なうことが確認された。

> 会員 DB の拡張情報を有効に活用するための方策を今後検討していくことが重要であることを確認し、引き続き検討を実施していくこととした。

7. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士

・地盤品質判定士に関する報告

資料－7 pp.41～58

・判定士活動状況表（CPD 付与行事等）

資料－8 p.59

> 国土交通省の公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録規程の一部が改正され、宅地防災分野が追加された。これを受け、地盤品質判定士協議会として「地盤品質判定士」を技術者資格登録に申請することが報告された。

> 地盤品質判定士会の各種行事の実施内容および今後の開催計画が報告された。

2) 技術普及委員会

・講習会企画（メール審議済）

資料－9 pp.60～63

> 既にメール審議済み。但し、3月に講習会を開催するのは業界的に厳しいとの意見があった。今後は開催時期を検討する必要があることが確認された。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

・ダイバーシティ座談会報告

資料－10 pp.64～78

> 参加された外国人の方の意見が紹介され、外国からの留学生は自国に試験装置がないため、土質試験に触れる機会を設けていただきたいとの要望があることが報告された。

・技術者・研究者紹介 WEB 版

資料－11 pp.79～80

> 広報委員会に部会派遣委員として参画する石井委員より JGS の TOP ページのお知らせ欄に公開した旨を周知できること、ダイバーシティ委員会からの派遣委員である清水先生から広報委員会に申し入れするのが適切であるとコメントがあった。

・ダイバーシティ会費減免者の学会誌電子版配信について

資料－12 pp.81～88

> 既減免制度利用者（半額免除会員）に対して学会誌電子版移行のお願いについて、会員支部部長名でメール配信を行なう。さらに、会費請求時に案内文章を同封して周知を行なうこととする。

> 既減免制度利用者（全額免除会員）に対しては、電子版ログインに関する案内文章を同封して送付する。

> ダイバーシティ会費減免に関するホームページの文章は具体的な表現方法とし、「学会誌は電子版購読とし、冊子での送付は行いません」などに修正することとした。

・ダイバーシティ会費減免制度の平成 30 年度の継続について

> ダイバーシティ制度の継続に関しては、昨年の理事会資料を引用して、次年度も引き続き継続する旨を 12 月の理事会審議に諮ることとした。

4) 継続教育システム委員会

> 特になし

5) その他

8. 会員処理

1) 請求書関係

・平成 30 年度第 1 回【コンビニ収納】会費請求：2018 年 1 月 20 日付発送予定

・職場班請求明細の送付：2017 年 5 月発送済、再送検討

・平成 29 年度第 3 回【口座引落】：2 件のみ

> 事務局にて請求書送付業務の作業工程に関するチェックリストを作成し、プロセスチェックを理事が行うこととなった。

> 口座引落は、2 件のみのため個別対応とすることが報告された。

2) 学生会員アンケートの配信

資料－13 pp.89～94

>ダイバーシティ会費減免に関するホームページの文章と同様に誤解を招かない表現方法とし、「学会誌は電子版購読とし、冊子での送付は行いません」などに修正することとした。

- 3) 学生会員の所属入力促進について
- 4) 会員情報更新案内の継続について
- 5) 会員の特典について

>特になし

9. 新入会, ダイバーシティ制度申請, 被災による会費減免申請 (12月中旬締切, メール審議予定)

- 1) 12月入会申請
- 2) 12月会費減免申請
- 3) プレミアム会員申請

>メール審議にて実施する。

10. その他

- 1) 第20回事業企画賞の経過報告とスケジュールの見直し

資料-14 pp.95~98

>第一次事務局による候補案のとりまとめと、審査員への候補案評価依頼の間に、会員・支部部にて内容チェック期間を設けることとする。それに伴うスケジュールの修正を行うこととした。

>事業企画賞候補選定に関する細則の(賞の対象)に2項として「過去2年間の事業とする」ことを追記することとした。また、それに伴う応募用紙の修正も行うこととした。

>第二次推薦理由書の作成は、石井委員に対応して頂く。

- 2) 永年会員表彰の工程及びチェック体制の強化

資料-15 p.99

>選考候補者の漏れが無いように候補者リストアップ作業に関するチェックリストを作成することとした。

- 3) 特別会員表彰の実態調査

資料-16 pp.100~104

- 4) ダイバーシティ関連表彰について

>継続審議とする。

11. 次回以降の部会等開催日程

>平成30年2月上旬開催を予定に、伝助等で後日スケジュール調整を行うこととした。